










<p>登校</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○検温カードへの記入。体調がすぐれない時は、無理に登校を促さない。 ○マスク着用で登校。 ○中学校前・マルシン食堂前の信号や、林松寺前のT字路等でぎゅうぎゅうにならないように班長指導。 ○登校したら昇降口で集まらず、玄関内の消毒を行い、すみやかに教室に入る。 ○児童委員会のあいさつ運動の休止。花の水かけは少人数で、会話せずに。 	
<p>朝活 読書 フッ素洗口</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○図書借りの学年毎の曜日設定や時間差をつける。（この時間帯だけでなく） ○読書後の手洗いの指導。 ○フッ素洗口は、差し当たって行わず、歯科校医の指示を仰ぎながら再開する。 	
<p>朝の会 健康観察</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○様子の観察。検温忘れの児童がいる場合は教室備え付けの体温計で測る。 ○個人のハンカチの常備指導。 ○「朝のあいさつ」の工夫。「朝の歌」は、聴く。 	
<p>授業</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業開始終了時のあいさつの工夫。 ○飛沫が飛ぶような大きな声での指導・会話をしない。 ○教室及び廊下の窓を15cmぐらい開ける。教室の出入り口の開放。 ○席を離す。床に目印のシール等をつけて、児童も意識できるようにする。 3年生は、教室・学習室・図工室を使い分ける。 ○近距離での意見交換等をしない。交流が必要ならW.B.や拡大提示装置を使う。 ○共有の物を使ったら手洗い指導。（PC・体育用具・図書・実験器具・楽器等） ○集団での歌唱、一斉での音読等をできるだけ避ける。（課題の斉読や九九練習等含・音楽の単元入れ替え等の工夫） ○理科室の座席等の使い方や実験のやり方を工夫する。 ○児童を並ばせての丸つけ確認等を行わない。やむを得ない場合、並ぶ場所を床に記し（1m間隔）、列やグループごと呼ぶ。 ○接近した机間指導を行わないように心がけ、方法を工夫する。 ○講堂で体育を行うときは、窓を15cmぐらい開ける。体育後の手洗い指導。 ○1単位時間に2回の換気、5分の業間休みにも必ず換気をする。 	
<p>中間休み 昼休み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○トイレや水飲み場を一斉使用にならないよう、学年ごとの場所分担や時差使用。 ○雨天でない限りできるだけ外遊びの奨励。校内で過ごす際の3密回避の指導。 ○どっこ水の柄杓を使わないように指導し、柄杓は撤去しておく。 ○念入りな手洗いの指導。○外遊びの際もマスク着用。 ○ドアノブ等の除菌。 	
<p>給食</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○全児童への念入りな手洗い指導及び「黙って仕事」の指導と、徹底。 ○給食当番への健康観察。（手洗いの確認・具合の悪い児童は行わない等） ○3密を避けた配膳の工夫。（間隔をあけたセルフサービス方式や、一部の児童が配るレストラン方式など…）*牛乳パックは洗わずつぶして回収。 ○会食は同一方向を向いて。会食の時のみマスクをはずす。 ○1階配膳室前の混雑回避の指導と表示設置。 ○食後の歯磨きは、歯科校医の指導を仰ぎうがいのみとする。 	
<p>清掃</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○十分に換気をして行う。 ○終了後の念入りな手洗い指導。 	<p>集会 6月から</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○整列の際に間隔をあける。（1m） ○終了後3密を避けて退場。
<p>終わりの会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「帰りのあいさつ」の工夫。 	
<p>下校</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○マスク着用で下校。 ○昇降口前での集合の仕方の工夫が中止。 ○ドアノブ等の除菌。 	

終日マスク着用

- ◎在校中に発熱した児童がいたら、その様子を見て早退措置をとります。
- ◎子どもたち自らが気をつけることができるように、発達段階に応じ具体的な指導を繰り返し行います。
- ◎活動する上での疑問等職員全員で考え、共通の視点にたって指導できるようにします。
- ◎子どもの心に寄り添い、感染症に伴う偏見等の「いじめ」などがおきないように、十分に配慮します。
- ◎放課後の時間を課題点検や教材研究等に有効に使い、限られた時間で力をつけられるようにしていきます。